

共同代表：島042-327-9330 深澤042-341-7524 e-mail：kodaira_kankyo@jcom.zaq.ne.jp

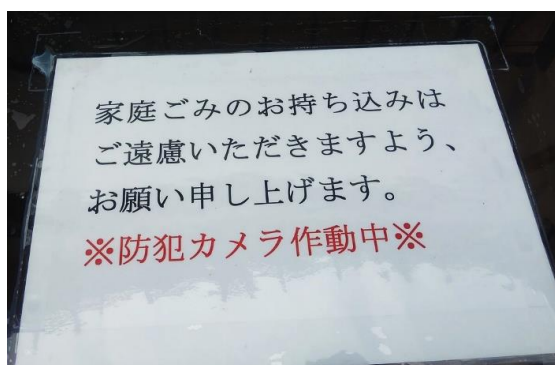
ごみ収集が有料化・戸別収集に変わって、 どうですか？

<スーパーマーケットへの聞き取り>

小平市がごみ有料化に踏み切ってから1ヶ月半余りが過ぎて、スーパーへの持ち込みごみがどうなっているのか、市内回田町のコープみらい、いなげや、河内屋、ヤオコーに、聞き取り・見学調査をした。

事前に電話で取材申し込みをした時点で、コープみらいといなげやは、家庭ごみの持ち込みや、資源回収箱へのほかのプラスチック持ち込みなど、大きな被害に遭っているとの事で、5月22日（水）に聞き取り調査に出向くことにしたが、ヤオコーは電話で、資源回収品はものすごく増えたが、家庭ごみの持ち込みなどは無いとの事だったので、見学にとどめた。河内屋については、試しに観に行ったら、資源ごみ回収ボックスに「家庭ごみの持ち込みはご遠慮ください。防犯カメラ作動中」の張り紙がしてあったので、急遽、聞き取りもさせてもらった。実際に、コープみらいもいなげやも、家庭ごみの持ち込みや、資源回収ボックスに回収品ではないプラスチックを入れていく事例がとて多く、大変困惑されている様子だった。河内屋は、ボックスへの張り紙をしてから、持ち込みごみが減ったとの事だった。

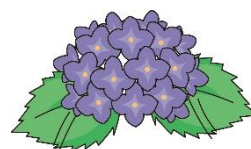
環境の会の会員の方の中にはいらっしやらないと思うが、「家の中のごみが無くなりさえすれば良い」「ごみ処理にお金を払うのは嫌だ」と考えていらっしやる方が、少なからずいるのだなと、ちょっと驚く結果だった。自分の家からは消えても、それを処理しなければならない人に迷惑をかけているという自覚は無いのだろうか？この感覚が、不思議でならない。が、みんながそういう意識なら不法投棄は起きないはず。何とも悩ましい、悲しい調査結果だった。（調査参加者：岩谷・角・島）



河内屋の資源回収ボックスに貼られた注意事項



ヤオコーのアルミ缶に混
じるスチール缶



目 次

ごみ有料化特集	1～4
コラム・投稿	5
会計報告	6
最近の当会の活動他	6



コープみらいのトレイに
混じるプラスチック

コープみらいの資源回収ボックスに貼られた注意事項の数々



いなげやの資源回収ボックスに貼られた注意事項



いなげやの店内ごみ箱に貼られた注意事項

*その後、6月半ばに見に行ってみたところ、だいぶ改善はされていて、ちょっとホッとしました。

<資源循環課への聞き取り>

5月23日(木)16時より、ごみ有料化実施後の市内の状況について、資源循環課の廃棄物減量施策担当課長にお話を聞きました。有料化と同じ今年4月1日から、新しいリサイクルセンターが稼働しましたが、資源循環課はそのリサイクルセンター内に移動しています。

●有料化後の状況は概ね順調?!

有料化後の現状は、分別方法についての問合せが殺到しているが、概ね順調とのことでした。スーパー等へのごみ持ち込みがありますが、立川市の例など見ても、数年で落ち着くのではないかとのことでした。高齢者世帯への対応としては、ケアマネージャー対象に有料化についての説明をしたとのこと。分別の間違いで収集されずに残されるごみがありますが、戸別収集になったので、ごみ収集員が声をかけ、指導することもあるそうです。

●有料化後、ごみ収集量は減っている

有料化実施前3月は、燃やさないごみの収集量が異様に増えたが、4月に入ってから、燃やすごみ、

燃やさないごみ、粗大ごみを合わせた収集量は、前年同月と比べて 20 数%減っているそうです。有料化実施後、数年経つと再び収集量が増えるリバウンドが起きる可能性はないか？との質問には、その可能性は否定できないが、食物資源循環モデル事業への参加を増やすなど、資源収集の拡大で対応したい、との回答でした。

●食物資源循環を増やす手当を！

3 世帯以上の参加で、生ごみを燃えるごみとは別に無料で回収してもらえる食物資源循環モデル事業への参加申込が、有料化実施後に大きく増え、現在 200 人待ちの状況だそうです。これに対応するには、食物資源循環用のトラックと人手を増やす必要があるが、そのための予算措置がまだできていないそうです。これは早く対応してほしい！と思いました。

●収集袋の価格は高いか？

現在、燃やすごみと燃やさないごみの収集袋の値段は 1 ㍓あたり 2 円、プラスチック製容器包装の収集袋は 1 ㍓あたり 1 円の価格設定です。大袋だと前者が 10 枚 800 円、後者が 400 円という値段について、高いという苦情はないか？との問いには、事前にどれくらいの価格なら受容できるかアンケートを実施しており（月に 300～500 円の負担なら許容）、近隣他市の動向も見て決めた、とのことでした。収集袋の販売により、年間 4 億円の収入が見込めますが、これはごみの収集運搬にかかる経費の 3 分の 1 程度だそうです。

●今後も、ごみは減っていくか？

今回の有料化の目的は、ごみに対する関心を高め、分別の徹底などで、ごみを減量させることです。市が昨年 3 月に発行した「小平市家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画」によると、有料化を実施した自治体の 75%で、5 年経過した段階で、一人あたりのごみ排出量が 10%以上減少しているそうです。ごみ減量に有料化は有効と考えてきた小平・環境の会として、今後を注視していきたいと思います。

（水口）



新しくなったリサイクルセンター



リサイクルセンターで見た資源の収集状況

☆建て替えられたリサイクルセンターは、平日はいつでも見学ができます。センターの中をぐるっと回り、ガラス越しに搬入・選別等の様子を見ながら、タッチパネルを操作して音声の説明も聞けます。みなさま見学に行ってみませんか？

☆センターではビン、カン、電池、蛍光灯、スプレー缶、ライター、なべ、古布類、ふとん、紙パック、剪定枝などを選別、圧縮等の中間処理を行い、保管してリサイクル業者に引き渡しています。施設内南側のプラザエリア 1 階に資源循環課の窓口と粗大家具等の展示・販売施設であるリプレこだいがあり、2 階に見学者ルートや見学者ホールがあります。

お問合せ先：資源循環課管理担当 小川東町 5-19-10 電話：042-346-9535 FAX：042-346-955



＜清掃事業者に聞きました＞

4月1日の有料化から2ヶ月近く経った5月30日、市内の大手清掃事業組合の高杉産業さんと小川工営さんにごみ収集の実態がどう変わったか、直接伺ってお話を聞きました。

以前は、数軒分のごみが出される集積所を回ればよかったわけですが、4月からは一軒ずつごみを集めて回っているのです。作業量が断然増えたそうです。高杉さんの場合、二人で1コース、200ヶ所の集積所を回っていたのが、1500世帯を回ることになり、助手さんは常に走り続け・・・2品目収集する日は2周するので、以前は3時半だった帰着時間が4時半にもなるそうです。小川さんの担当者も、体力的に大変、夏が怖い、と心配していました。住民の意向で引き続き集積所にごみを出している場所も2割ぐらいあるそうです。

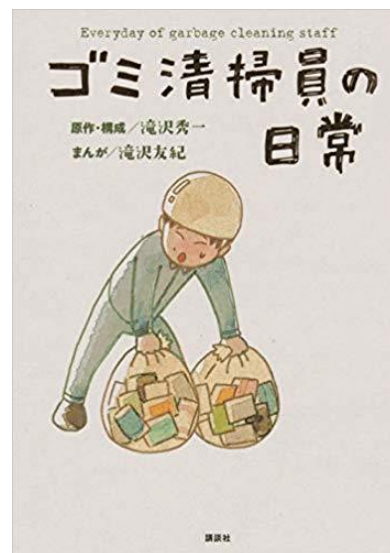
清掃業者に直接問い合わせやクレームの電話をする市民も多いそうで、小川さんだけで500件は受けたとか。説明会はたくさん実施されましたが、やはりごみの出し方の変化についていけない市民は多く、私たちの聞き取りの前日だけで「収集できません」シールを50枚貼ったとのこと。不法投棄も増えたそうですが、有料化の先行市の経験を踏まえると、本当に慣れるまでは8～10年かかるのでは、ということでした。

ごみの量の変化については、有料化直前の3月の不燃ごみがいつもの4倍出て、業務終了は7時半に（耳が痛い・・・）。4月以降は、燃やすごみがだいぶ減り、資源が2倍に、公民館・図書館・地域センターなどの拠点回収（紙パック、白色トレイ）が3倍になったそうです。

市民への要望としては、ごみは見えやすい決めたところに、飛ばないようにネットにくるむなどして出してほしいとのこと。ポリバケツに入れて出す場合、重石を入れておかないと風に飛ばされることもあるそうです。

最近、本屋さんの店頭で『ゴミ清掃員の日常』という漫画が平積みされていたのですぐ買いました。売れないお笑い芸人とその奥さんの共同制作、キャッチコピーは「読むと分別したくなる。」です。クスリと笑ったりジーンとしたり・・・読みながら、お世話になった清掃員の故CHさんを思い出しました。一緒にごみ減量にも取り組んでくださった志の高い方でした。ごみ収集車を見かけると、今でもふっと「CHさん乗ってないかな」と思ってしまいます。

これから夏、一番収集作業が大変な季節です。少しでも清掃員の方の仕事が楽にはかどるよう、市のごみカレンダーをよく見て、しっかり分別、ごみ自体もなるべく減らすよう（特にプラものをなるべく買わないよう）工夫したいものです。漫画の原作者滝沢さんも言う通り、ごみにも私たちの品格が表れるのですから。（深澤）



東大和市の住人から

2019年4月、小平市ではごみ袋の有料化が始まった。今回の環音では、小平市、小平市内で資源物回収に協力しているスーパー、実際に廃棄物を回収・処理している業者、三者への調査についての記事が掲載されている。

筆者の住んでいる東大和市はごみ袋の有料化を2014年に開始している。筆者は約5年ごみ袋有料化をする生活をしているのだが、小平市のごみ袋有料化について自身の経験を踏まえて記事についての感想を記す。

冒頭のスーパーへの聞き取りでは、資源回収箱へのほかのプラスチック持ち込みなどの問題が出ている。東大和市では、市内のスーパーにてプラスチック等の資源回収が行われている。筆者個人の経験では、市内のスーパーにて小平市のような資源回収に関する問題を見たことはない。しかし、東大和市で問題がないということではない。少し前のことになるが、筆者の住んでいる地区のゴミの集団回収場所では、ゴミの出し方に問題があり、行政からの指導が入ったものの、改善が見られず、回収場所の閉鎖となった。このように、東大和市においても、有料化後、問題はある。有料化されたからといって、住民のゴミに関する意識は変化しないこともあるのだと思ったことがある。

朝、清掃事業者の職員が玄関先に置かれた紫のゴミ袋を回収する光景が日常となった。時々、筆者は職員の動作を細かく見ることがある。職員の作業時間がかつて、ごみ収集場所へ出していたころよりも長いと思われることがある。職員がわざわざごみ袋の中身を確認し、その日に回収するものではないと判断したとき、別の日に出してくださいというシールを貼る。中身を確認し、回収する。異なったときはシールを貼る。これを続けていく。

ゴミは私たちが生活をするなかで、切っても切り離せない。小平市では、この光景が徐々に日常になっていることだと思う。朝、ちょっとの時間、ごみ収集を行っている清掃事業者の職員の行動に目を向けて、ゴミのことを考えるのも、有料化がもたらしたことであるのかもしれない。(森田)

投稿

ノープラ・減プラ生活？

先日NHKのクローズアップ現代で「ノープラ生活（プラスチックを使わない生活）」という言葉を知り、あれこれ実践中です。代替品を思いついたり、見つけたり。これがゲーム感覚で結構楽しい！

以下では実践中のものやこれからやってみたいものなどを取り上げてみました。皆さんはどんな工夫をしていますか？

〈実践中〉

- ・ラップの代わりにポリ袋（半透明のカサカサした）で包む。＊レンジにかけられます。＊蜜蝋ラップ（蜜蝋を染み込ませた布。繰り返し使える）というのもネットなどで販売されています。ネットに手作りの方法も出てますね。
- ・各製品の製造元にプラ容器以外の検討をお願いするメールを出す。エコに取り組んでいる会社には激励メールを出す。

〈これから〉

- ・竹歯ブラシに代える（アマゾンで8本入1250円で販売）

〈アイデア？〉

- ・小麦粉など粉類は、紙袋か缶コーヒーで見かけるキャップ式のスチール缶で販売。スチール缶は軽し、キャップで計量できるようにすれば便利。握力の弱い人にも開閉が楽なキャップで。＊最近、日清製粉は紙袋からプラ袋に代えています。時流に逆行！（G）

2018年度 小平・環境の会 会計報告（2019年3月31日現在）

項 目	収 入	支 出	残 高
前年度繰越金	18,058		18,058
会費収入	27,000		45,058
事業収入(畑部会費)	88,477		133,535
寄附金収入	312,520		446,055
その他収入	67,096		513,151
解散の為預金等引き出し	377,059		890,210
NPO 解散費用		405,745	484,465
調査研究等の啓発活動	0		484,465
ごみ削減実践事業		89,063	395,402
ネットワーク交流事業		1,000	394,402
ごみ削減のための提言活動		890	393,512
環境学習事業		15,432	378,080
わおん発行費		29,062	349,018
管理費		19,197	329,821
計	890,210	560,389	329,821

昨年度は、NPO の解散手続きがあり、少々混乱しながらの会計となりましたが、会計監査も無事終了しましたので、会計報告をさせていただきます。

なお、NPO 法人ではなくなったため、毎年総会を開催する義務はなくなりました。本年度は総会の開催を見送ります。何かご質問等ございましたら、会宛てにお電話などでお問い合わせください。

監事 磯貝 京子



監事 旗 利彦



最近の当会の活動

（前号発行 2018 年 11 月末以降）

・1月26日（土）午後 小平市民活動支援センターあすぴあ「市民団体の世代交代を語る交流サロン」に発言者として参加。

・3月5日（火）～10日（日）中央公民館「忘れない3.11展」に主催団体として参加。来場者のべ1527名。災害時にも役立つ生ごみリサイクルの方法を紹介展示。

3月9日（土）午後 市民のつどい「あれから8年、復興の現状と被災者のいま」講師：佐藤和良さん（福島県いわき市議会議員・福島原発刑事訴訟支援団団長）。参加者、約70名。

・5月26日（日）ごみゼロフリマ：小平市役所駐車場にて。資源回収シールアンケート「ペットボトル、資源トレイ、紙パックをどこに出していますか？」を実施。

・6月22日（土）午後 国分寺労政会館にて、ごみ環境ビジョン21主催「生ごみリサイクル交流集会in多摩」にスタッフとして参加。



小平・環境の会

年会費 会員(個人) 1000 円
賛助会員(個人・団体) 5000 円
郵便振替：口座番号 00150-3-514947
加入者名 小平・環境の会

編集後記
4月21日の小平市議会議員選挙で当選し、市議会議員になりました。小平に住み始めて25年。小平・環境の会の活動に参加するようになってから十数年になります。その間、小平中央公園横の雑木林を半分失くす道路計画に疑問をもち、住民投票を提案したことが、今回の出馬につながりました。議員になったら、一市民のときよりも情報の収集力が大幅に拡大しました。市政を動かす発言力も大きくなりました。議員としてのこの力を市民活動に活かしたい！これから自分に期待して、切磋琢磨の努力を続けます。（水口）